

選管に署名を本提出

市長にも協力を要請し懇談



「県民投票で決める会」は10日、これまで市内全域で市民から集め、1月7日に仮提出していた「原発の再稼働の是非を問う県民当方条例の制定を求める署名」を市選管に本提出しました。

提出の後、一行は市長を訪ね、県民投票の実現に向けての協力を要請しました。

市長は、この運動に敬意を表し、重く受け止めている旨を答えました。

2/10 大島・安塚・牧に災害救助法 2/11には吉川・清里にも

いたるところで積雪3メートル超

4メートル超のところも

4日から襲来した今年一番の寒波による激しい降雪で、中山間地ではまれに見る積雪になっていきます。

そのため、10日、県は災害救助法を安塚区、大島区、牧区に適用すると発表しました。この適用で、屋根の雪下ろしなど除雪について市が救助する費用は、今後県と国が負担することになります。(要援護世帯除雪費助成制度の支援費が増額される可能性もあります。ただし、除雪前と除雪後の写真が必要になります。)

その後、11日には吉川区と清里区にも適用され、今後さらに対象地域が広がる可能性があります。

一方、除雪の際の事故も相次ぎ、10日現在、死者1人・重症者6人・軽傷者8人・建物6件が全半壊など大きな被害に見舞われています。豪雪の被害に遭われている皆さん、不自由な生活を強いられている

皆さんに、心からお見舞い申し上げます。

市では災害対策本部設置

こうした状況に対して、市ではこれまで設置していた大雪災害警戒本部から、大雪災害対策本部に移行しました。市としては、「市民生活の更なる安全確保に万全を期す」としています。

議会は市長に緊急要請

市議会では、折から開催されていた災害対策特別委員会で緊急に豪雪災害について議論を深めているほか、議会として10日夕方、中川市長に対して、「新潟県に対し、災害救助法を一刻も早く適用すること、適用基準を柔軟に運用することを求め、めてほしい」と要請しました。

これに対して中川市長は、「県にしっかりと伝え、対応していく」と答えました。

議員団にお気軽に声を

日本共産党議員団は、豪雪の被害状況を逐一確実に把握するとともに、皆さんの声や要望を市の対策に直接反映させるよう活動しています。この降雪でお困りのことなどがありまして、たら、どんなことでもお気軽に声をかけください。



「県民投票で決める会」事務局が、15万筆超の署名「本提出」にあたってコメントを発表 2025年2月9日

2025年2月1日、県内最後の魚沼市の署名収集期間が終了し、集計をおこなった結果、全県の署名総計が15万筆を突破しました。

昨年10月28日から始まった「柏崎刈羽原発再稼働の是非を問う県民投票条例」の制定を求める直接請求署名に、15万人を超える県民・有権者から貴重なご署名をいただいたことは、この運動が多くの方のみなさんの思いと合致している結果だと確信します。ご賛同・ご協力、本当にありがとうございました。

また、この運動を中心的に担われた請求代表者各位、および受任者のみなさまの献身的

なご奮闘に、心から敬意を表します。

15万128筆(有権者比8.3%、選管の審査確定前)という直接請求署名数は、同様に再稼働の是非を問う県民投票条例制定を求めた宮城県女川原発(2018)の11万3,046筆(有権者比5.8%)や、茨城県東海第二原発(2022年)の8万6,703筆(約3.6%)などと比べ、実数でも率でも大きく上回る結果となっています。

市区町村ごとに見ると、37市区町村のうち栗島浦村を除くすべての市区町村で直接請求に必要な法定数(有権者の1/50=2%)を上回り、4人に一人(約25%)を集約した津南町のとりくみを筆頭に、有権者比10%を超えた市区町村が14(38%)に上りました(いずれも選管の審査確定前の集約数)。

署名収集期間終了後も、「署名しなかったのに」「どこに行ったらいいのか」など、署名できなかったことを悔やむ方の声が後を絶ちません。「県民投票で決める会」は、こうした声に応えるため、

ひきつづきホームページ上でWebアンケートへの協力を呼びかけていますので、ぜひお気軽にご協力ください。

さて、今後は各市町村選管による署名簿の審査と縦覧を経て、3月中には知事への「本請求」を行う運びとなっています。2月17日に開会される定例県議会でも、直接請求について率直な議論が行われるでしょう。

4月中旬には臨時県議会が招集され、条例案が審議・議決される見込みです。

花角知事ならびに、新潟県議会議員各位におかれては、寄せられた15万筆の重みを受け止めていただき、慎重審議をお願いするとともに、どうか「県民投票条例(案)」にご賛同くださいますよう、心からお願いいたします。

そして、「県民の信を問う」最も明確で最良の方法として、「柏崎刈羽原発再稼働の是非を問う県民投票」を実施されますよう重ねてお願い申し上げます。「本提出」にあたってのコメントといたします。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.861 2025年2月16日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>